

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
建築設計科											
設計製図 4											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	天野 奈緒			実務 経験	有	職種	建築設計				
授業概要											
2 年間学んだことを基礎に、都市、各種建築物などの設計を中心にまとめます。											
到達目標											
次の2点を到達目標とする。 ①環境住宅の設計方法を習得する。 ②実務に即した課題に取り組み、経験することで実践力を習得する。											
授業方法											
前半には、テクノロジーを活用し、温熱や通風を考慮し、環境に対して配慮した建築を計画し、風や熱をサーモカメラや温熱シミュレーションソフトにより可視化を行い、計画の根拠となる定量的判断の材料を獲得する。後半には、企業連携課題とし、実在する物件においてプロジェクトを展開する事で、実務上で起こりうる状況などを体感し、生きた設計を学習する。											
成績評価方法											
授業態度、平常点、提出物などを総合的に判断する											
履修上の注意											
設計は広範にわたる建築分野の基礎をなす科目の一つである。授業時間中の指導、講義、作業に加えて、それ以外の時間での思考、検討、作業など個々の目的に合わせて効果的に配分し取り組むこと。授業には集中して取り組み、課題提出期限を守ること。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は単位を認定しない。日本工学院 授業心得（学生用）を守ること。											
教科書教材											
建築製図 基本の基本 学芸出版社、第 3 版 コンパクト建築設計資料集成 丸善											
回数	授業計画										
第 1 回	オリエンテーション：設計課題の課題説明、敷地見学し、課題内容が理解する。										
第 2 回	参考資料を調査し、設計課題のエスキースの方法を理解し作図できる。										
第 3 回	参考資料を調査し、設計課題のエスキースの改善方法を理解し作図できる。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
建築設計科	
設計製図 4	
第 4 回	シュミレーションの方法を理解できる。
第 5 回	シュミレーションを参考に修正エスキースの方法を理解し作図できる。
第 6 回	環境を盛り込んだ平面図を作図する方法を理解し作図できる。
第 7 回	環境を盛り込んだ断面図・立面図を作図する方法を理解し作図できる。
第 8 回	環境を盛り込んだプレゼンシートの作成方法を理解し作図できる。
第 9 回	環境を盛り込んだプレゼンテーションの方法が理解できる。
第 10 回	設計課題の課題説明、現地調査、ヒアリングの方法が理解できる。
第 11 回	設計課題のエスキース方法を理解し作図できる。
第 12 回	設計課題のエスキースの改善方法を理解し作図できる。
第 13 回	提案資料の作成方法、概算見積の方法が理解できる。
第 14 回	提案資料の作成、概算見積をまとめる方法が理解できる。
第 15 回	クライアントに提案する方法が理解できる。